



山口蓬春《梅雨晴》1966（昭和41）年 紙本・彩色 山種美術館蔵
©公益財団法人 JR東海生涯学習財団

第 122 期

2020年4月1日～2021年3月31日

株 主 通 信

株式会社ヤマタネ

証券コード：9305

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第122期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、決算概況につきましてご報告申し上げます。



1 第122期（2021年3月期）を振り返り、ヤマタネグループの各事業をとりまく環境とは

第122期におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い、個人消費の低迷や企業活動の停滞により厳しい状況となりました。

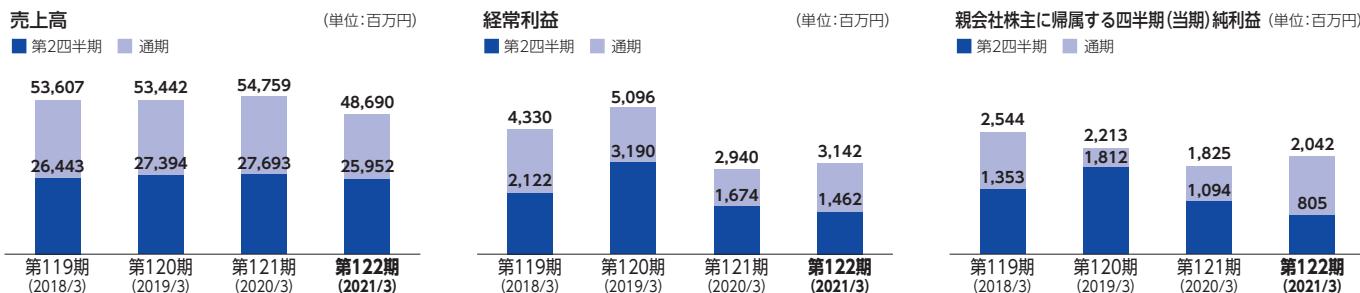
このような事業環境のもと、当期の連結業績は、新型コロナウイルス流行の影響を受けて、食品部門での外食向け業務用販売の落ち込み等により大幅な減収となりましたが、物流部門への影響は限定的であったこと、また不動産部門では再開発物件が順次稼働を開始したこと等により、営業利益は業績予想を上回り増益となりました。

この結果、売上高は486億900万円（前期比11.1%減）となり、営業利益は33億200万円（同0.5%増）となりました。また、経常利益は前年度に計上した不動産開発に伴う資金調達費用の減少等もあり31億4200万円（同6.8%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券売却益の計上等もあり、20億4200万円（同11.9%増）となりました。

2 第123期（2022年3月期）の展望について

物流部門におきましては、新型コロナウイルス感染防止策を徹底することで、確実な物流をご提供し続けます。また、環境負荷の少ない車両の増車等、荷主企業の環境対策にも貢献してまいります。なお、

連結業績ハイライト



2021年4月に開設した「印西アーカイブズセンター」は、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）の最高ランク5つ星を獲得いたしております。

食品部門におきましては、販売面では既存顧客へのきめ細かい対応でシェアの拡大を図るとともに新規顧客の開拓に最注力してまいります。一方、仕入面でも既存先との関係強化と新規先の開拓を進め、安定的な調達をめざすとともに、持続可能な生産活動に寄与するべく、産地とのさまざまな協働事業につきましても一層の拡大を図ってまいります。また、現在建築中の「印西精米センター」は環境負荷低減効果を採り入れた、国内最大級の精米工場として2022年稼働に向けた各種準備を着実に進めてまいります。

情報部門におきましては、主力の汎用系システムの開発・保守業務に加え、新たな事業領域となるクラウドの活用やオープン系アプリケーションの開発等に積極的に取り組んでまいります。また、ヤマタネグループ全体のDX推進を強力に進め、グループ戦略を支えるシステム基盤の構築に注力してまいります。

不動産部門におきましては、既存オフィスビルの高稼働率維持をめざすとともに、中長期修繕計画に基づいた物件の品質及び安全性の維持向上に注力し、引き続き競争力のある運営に取り組んでまいります。

また、2021年8月の開業に向けて準備を進めております大型開発案件「KABUTO ONE」は、「国家戦略特区」の整備事業として内閣総理大臣の認定を受けており、『国際金融都市・東京』構想の一翼を担い、日本橋兜町・茅場町地域全体のさらなる発展に寄与してまいります。

3 「ヤマタネ中期経営計画 2022プラン」、 「ヤマタネ 2024ビジョン」の見直しについて

めざすべき企業像を示した「ヤマタネ 2024ビジョン」の実

現に向けて、2019年度より「ヤマタネ中期経営計画 2022プラン」を推進しておりましたが、今回のコロナ禍における行動変容やSDGsに対する意識の高まりなど、人々の価値観や社会の風潮が急速に変化し当社を取り巻く事業環境が大きく変貌したため、現行のプランを見直すこととしました。見直し後の2022年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は481億円、営業利益は30億円、経常利益は27億10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は16億50百万円を予想しております。厳しい環境下ではありますが、収益認識基準の適用による売上高の減少影響を除けば実質増収となり、利益面でも新設物件の減価償却負担増を主因に減益となるもののキャッシュフローを基準としたEBITDAは前期比プラスとなる見込みです。

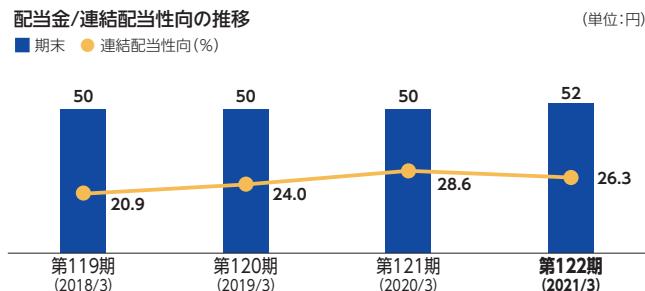
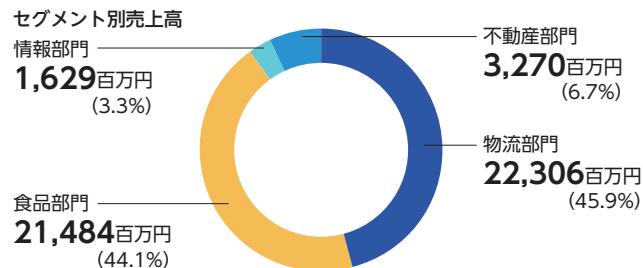
また、あわせて現行の長期経営計画「ヤマタネ 2024ビジョン」を発展的に解消し、次の100年を見据えた新長期ビジョンの策定にも着手します。このビジョンにおいては、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの中で、企業価値の継続的な向上をめざしてまいります。この実現に向け、本社が所在する越中島地区を含む既存物件の大規模な再開発など、将来に向けた事業構想をとりいれ、業務改革による新たな事業展開をめざしてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長

山崎元裕

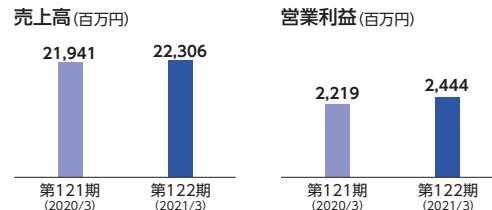


安定配当の基本方針を維持しながら株主の皆様への利益還元を強化するため「累進配当」を行うことといたしました。

物流部門

■ 売上高 **22,306**百万円 ■ 営業利益 **2,444**百万円

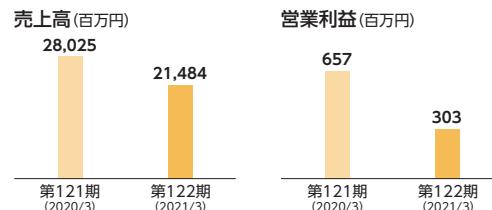
物流部門は、新型コロナウイルス流行の影響により海外引越を中心とした国際業務は前年水準を下回り、国内業務では業務用飲料等の荷動きは低水準となりましたが、影響は限定的なものにとどまり、前年度下期に新設した営業拠点の通年稼働に加え、食品や家電製品等の荷動きが堅調であったことから売上高は22億6百万円（前期比1.7%増）となり、営業利益は2億444百万円（同10.2%増）となりました。



食品部門

■ 売上高 **21,484**百万円 ■ 営業利益 **303**百万円

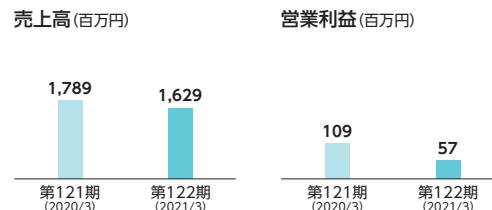
食品部門は、新型コロナウイルス流行の影響により、外食や事業所給食向けの販売が減少し、さらに量販店向けの販売競争による影響もあり精米販売は60千玄米トン（前期比19.6%減）、一般小売店や他卸業者向けの玄米販売も14千玄米トン（同32.8%減）となり、総販売数量は75千玄米トン（同22.6%減）となりました。この結果、売上高は21億484百万円（前期比23.3%減）、営業利益は3億3百万円（同53.8%減）となりました。



情報部門

■ 売上高 **1,629**百万円 ■ 営業利益 **57**百万円

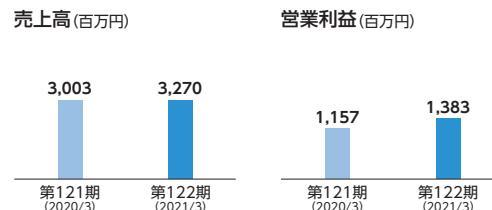
情報部門は、新型コロナウイルス流行の影響により、主力の汎用系システム開発において新規開発またはシステム改修案件が先送りや中止となり、棚卸用レンタル機器のユーザーにおいても棚卸が延期や中止となったことから、売上高は1億629百万円（前期比8.9%減）となりました。営業利益につきましては、ヤマタネグループ全体のITインフラ強化のための人員を増やしたこともあり57百万円（同47.4%減）となりました。



不動産部門

■ 売上高 **3,270**百万円 ■ 営業利益 **1,383**百万円

不動産部門は、「KABUTO ONE」の開発案件が進行中ではありますが、「ヤマタネ藤沢ビル」及び「ヤマタネ五反野ビル」の開業等もあり、売上高は3億270百万円（前期比8.9%増）となり、営業利益は1億383百万円（同19.5%増）となりました。



「印西アーカイブズセンター」 開設および 「建築物省エネルギー性能表示制度」(BELS) 認証 ならびに「ZEB Ready」 評価取得のお知らせ

当社は今年4月、千葉県印西市に「印西アーカイブズセンター」を開設いたしました。

「印西アーカイブズセンター」は、BCP対策として72時間対応の非常用自家発電設備や窒素ガス消火設備を有し、強固な地盤に建設されております。また、お客様の大切な情報を安全・安心にお預かりする為に生体認証セキュリティシステムを完備した文書保管専用センターとなっております。

さらに、当センターは、「建築物省エネルギー性能表示制度 (Building-Housing Energy-efficiency Labeling System)」の最高ランクである5つ星および「ZEB Ready」の評価を取得し、一次エネルギー消費量を省エネ基準の50%以下まで削減した高い省エネ性能を有し、環境負荷の低減に配慮した倉庫オペレーションを実現いたしました。



▲外観

施設概要

所在地	千葉県印西市つくりや台二丁目1番1
階数	地上3階建
設備	72時間非常用自家発電設備、窒素ガス消火設備、生体認証セキュリティシステム
建築面積	4,309.87㎡ (1,306.02坪)
延床面積	9,549.67㎡ (2,893.84坪)
主要構造	鉄骨造
開設時期	2021年4月9日

ヤマタネグループの サステナビリティ経営



ヤマタネグループとは何かを改めて認識し、ステークホルダーの皆様には私たちの「想い」や「あり方」を伝える“言葉”としてコーポレートメッセージ“「続く」を支える。”を2019年に策定しました。ヤマタネグループでは創業以来、「信は万事の本を為す」に則り、社業を通じて豊かな社会の実現に貢献することを企業理念としてまいりました。この企業理念をもとに為すべきことは、ステークホルダーの皆様「続く」を支えること。すなわちサステナブルな社会の実現に寄与することです。“「続く」を支える。”をヤマタネグループとして更に推進していくため、このたび「サステナビリティ方針」を制定しました。

サステナビリティ方針

ヤマタネグループは「信は万事の本を為す」に則り、社業を通じて豊かな社会の実現に貢献することを企業理念としております。また、コーポレートメッセージとして“「続く」を支える。”を掲げており、パートナー企業として信頼の絆を深め、お客様と社会と共にまっすぐ歩み続け、顧客、株主、社員など全てのステークホルダーの「続く」を支えていくことがヤマタネグループの存在意義と考えております。

この企業理念とコーポレートメッセージの考え方を基本とし、実践していくことで、持続可能な社会への貢献とともに持続的な企業価値の向上を目指します。

【行動指針】

- ① 長期ビジョンを掲げ、その達成のために「環境」「社会」「経済」の持続可能性の側面から課題を抽出し、事業を通じてその解決に取り組めます
- ② 攻めと守りのガバナンス強化と多様な人財の活躍推進のため組織基盤の整備に取り組めます
- ③ 適正な情報開示を行い、ステークホルダーの皆様と積極的な対話を行います
- ④ パートナーシップを強固にし、バリューチェーン全体を通して持続可能な社会の実現に取り組めます

サステナビリティ方針の制定とともに、事業活動を行う上での課題を抽出し、ヤマタネグループにおけるマテリアリティ(重要課題)を特定しました。

また、マテリアリティに対する取組みの重点テーマとして下記の6つのテーマを掲げ、事業を通じて解決に取り組んでまいります。

取組み重点テーマ

E:環境

環境に配慮した事業活動の推進



- 温室効果ガス排出量削減
- エネルギー使用量の削減
- 廃棄物及び有害物質の管理



S:社会

製品・サービスの品質向上



- 安全安心な商品・サービスの提供
- 個人情報保護及び高度なデータセキュリティ
- 安全衛生の推進
- リスクマネジメント



S:社会

人財の多様性と活躍の促進



- 生産性向上による働き方改革
- 人財育成及び教育
- 女性活躍を含む多様な人財の活躍推進
- 差別防止及び社会的弱者への配慮



S:社会

地域コミュニティ及び生産地と農業の発展



- コミュニティへの参画及び発展への寄与



S:社会

持続可能なコメの調達の推進



- 持続可能な材料調達と効率的な使用



G:ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの深化 (健全性の確保・効率化の追求・ 透明性の向上・再現性の堅持)



- リスクマネジメント
- 適正な情報開示



開館55周年記念特別展

山種美術館所蔵 浮世絵・江戸絵画名品選 一写楽・北斎から琳派まで一

2021年7月3日(土)～8月29日(日) ※会期中、浮世絵のみ全点展示替え(前期:7/3-8/1、後期:8/3-8/29)

山種美術館は、2021(令和3)年に開館55周年を迎えます。当館では開館55周年を記念し、所蔵の浮世絵と江戸絵画の優品をご紹介します展覧会を開催いたします。浮世絵は、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽、歌川広重、葛飾北斎など保存状態がよく、専門家の間でも高く評価される名品を紹介

します。江戸絵画では、重要文化財・岩佐又兵衛《官女観菊図》、椿椿山《久能山真景図》や重要美術品・酒井抱一《秋草鶉図》などをはじめ、琳派、狩野派、円山四条派など各流派による個性豊かな優品の数々をご覧ください。本展を通じて、当館秘蔵の浮世絵・江戸絵画の魅力をご堪能ください。

会場	山種美術館
主催	山種美術館、朝日新聞社
開館時間	平日:10時～16時 土・日・祝日:10時～17時 (入館はいずれも閉館時間の30分前まで) ※今後の状況により会期・開館時間等は変更する場合がございます。
休館日	月曜日[但し、8/9(月)は開館、8/10(火)は休館]
入館料	一般1,300円・中学生以下無料(付添者の同伴が必要です) 【夏の学割】大学生・高校生500円 ※本展に限り、通常1,000円のところ半額 入館日時のオンライン予約ができます (詳細は当館Webサイトをご覧ください)。
お問い合わせ	050-5541-8600 (ハローダイヤル)
URL	http://www.yamatane-museum.jp/

今後の展覧会

- 開館55周年記念特別展
速水御舟と吉田善彦
一師弟による超絶技巧の競演一
9月9日(木)～11月7日(日)
- 開館55周年記念特別展
奥村土牛
一山崎種二が愛した日本画の巨匠 第2弾一
11月13日(土)～2022年1月23日(日)

詳細は山種美術館HPをご覧ください

※表紙の山口蓬春《梅雨晴》は「百華繚乱—華麗なる花の世界—」(4/10～6/27)にて展示

●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	(インターネット ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
定時株主総会	毎年6月開催	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	事務取扱場所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	公告の方法	当社のホームページに掲載する。 https://www.yamatane.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告する。
		(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	上場証券取引所	東京証券取引所
		(電話照会先)	☎ 0120-782-031		

株主に関する住所変更等のお手続きおよびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先へお願いいたします。